

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくらっ子（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日		～ 令和6年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年 11月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の特性に応じた支援を行っている。	・ 本人の好きな事。得意な事を見つけて引き出し意欲的に取り組めるようにする。	・ 色々な活動が行えるように職員研修に参加したり情報を取り入れる。
2	個別・集団・小集団での活動	・ 日々のプログラムは一つに絞らず、できるだけ子どもたちが活動の選択ができるように支援している。 またニーズに合わせて個別活動（療育）や小集団での活動（製作、手作りおやつ等）、集団（集会、ゲーム等）を通して多様な体験ができるように支援している。	・ 限られた時間など、平日の学校授業日でも外出や色々なことがもっとできるようなプログラムを検討していく。
3	異年齢児や重心児童との交流を行っている	・ 小さい子達や重心児の児童との交流の中で優しく接したりお互いに刺激を受けている。	・ 活動等に苦手な分野も織り交ぜて、個々の成長を促す取り組みをしていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	徒歩で行ける場所や安全に遊べる広い場所や遊具がない	・ 体を動かして遊ぶことが好きな児童が多い	・ 散歩を兼ねて少し遠い公園に行ったり、車移動で出かける。
2	学校休業日は利用人数が多く、個室スペースが足りないなどの環境の整備が必要	・ 高学年や高等部などは小部屋で数人過ごす狭いことがある。 ・ 異年齢児や周囲の音や声などの環境的なもの	・ 時間を区切って個別や小集団で活動内容を分けて行うなどきめ細かく行う
3			